笹原中学校　３年学年通信　No.４

絆

２０１８年７月１２日（木）

先週は大雨による影響で、臨時休業により夏季総体や三者懇談が延期になったりしました。多くの犠牲者や被災者がでたこと、まだ行方不明者がいることを決して忘れてはいけません。

伊丹市では今週からいつも通り学校が再開しましたが、この日常が当たり前ではないことに気付かされた人も多いのではないでしょうか・・・。

がんばれ、阪神大会！

６月３０日（土）から伊丹市中学校体育大会が開催され、市内のあちらこちらで熱い戦いが繰り広げられました。一生懸命ボールに集中し、声を出し、応援もしたけれど、なかなか簡単には勝てず、悔し涙を流した人もたくさんいましたね。応援席にはたくさんの保護者や卒業した先輩がかけつけ、熱い声援を送ってくださいました。でも仲間や家族に支えられたおかげで、最後まで諦めずに戦えたのではないでしょうか。

「残念ながら負けてしまったけど、今までで１番いい試合ができました」と言っていた人もいました。しんどいことがあっても、最後までやり通せたことを誇りに思ってほしいと思います。

延期になっていた試合が、７月９日(月)～１１日(水)に行われました。うれしい結果を残し、阪神大会に駒をすすめた人もいます。悔し涙を流した仲間の分も、がんばってください。みんな、応援しています！

笹中の熱い戦いはまだまだ続きます。

サッカー部　　優勝

男子バスケットボール部　優勝

男子ソフトテニス部　個人戦の部

[redacted]ペア
準優勝

[redacted]ペア
ベスト１０

修学旅行での学び、深まった絆をつなげて・・・

１学期も残り約１週間となりました。今学期の大きな行事といえば、沖縄への修学旅行でした。「自治集団の集大成」をめざし「過去を知り、未来へつなげる」というテーマのもと、一人ひとりが自分の役割を自覚し、その責任を果たせた、素晴らしいものでした。

３年生になり、ぐっと成長した面や人としての優しさもいたるところで見ることができました。多くのことを学び、たくさんの思い出ができた３日間でした。

解散式で実行委員の岡田さんが「修学旅行はまだ終わっていません。」と言ったことの意味を考え、今後につなげていきましょう。

修学旅行後に書いた作文の一部を紹介します。

「修学旅行で感じたこと」　２組 [redacted]

この修学旅行は私にとって大切な思い出になりました。民泊は初めてでとても緊張しましたがすごく親切にしてもらえて楽しかったです。１日目はビーチに連れて行ってもらい、貝殻を集めました。沖縄の海はきれいで、珊瑚や貝殻がたくさん落ちていて、潮のにおいもしました。家に帰ってタコライスと沖縄そばを食べました。その時に民泊の方から戦争の体験も話してもらいました。学校から「親に戦争の話を教えてもらう」という宿題がでても、母は涙を流すばかりだから聞かなかった、という話も聞きました。

「家庭の平和は村の平和、村の平和は国の平和、国の平和は世界の平和、というようにつながっていくんだよ」と教えていただきました。だから家族の中や友達の中でけんかをなくしていったり、苦手な人がいてもその人に自分が合わせていくと少しずつ仲良くなれるという話など、聞いていて深く心に残るものばかりでした。

初めて、三線も弾かせてもらったり、サーターアンダギーも作らせてもらいました。

２日目は、沖縄南部のパワースポットを見に行かせてもらいました。沖縄の歴史について話してもらったり、珍しい花も見せてもらったりきれいな景色もたくさん見ることができました。私たちと家族のように接してくださり、「またおいで」と言っていただいたので大人になったら訪れたいと思います。

沖縄戦、平和についてもたくさん学べました。実際に行ってみると、自分が思っていたよりも悲惨で怖かったです。戦争でたくさんの辛い思いをして、苦しいことばかりで、なんで戦争をしているのだろう、と当時の人たちは思っていただろうと思います。色々な資料を見ていて苦しかったし、今の時代は平和で良かったと思いました。この平和学習で感じたことをこれからの生活や次の世代につなげていきたいです。命や１日１日を大切にし、今を大事にしていきたです。

「ガマを見学して」　４組 [redacted]

僕が初めてガマのある場所に行って最初に思ったことは、ガマはとても深いし暗い、ということです。実際に山城本部ガマに入ってみると、本当に真っ暗闇で、懐中電灯などの明かりがないと全くまわりが見えませんでした。さらに足元が岩でゴツゴツしているうえに、水で濡れていてすべりやすく、僕も何度かこけてしまいそうになり、とても危険な所だということもわかりました。でも戦争の時はこんなところで自分の身を隠すしかなかったと考えると、本当に悲惨なことだと改めて思いました。

また資料館では、実際のガマの中で過ごしていた人々の様子を見ることができました。そこには一般の人々と兵士がいました。ガマの中にいた人の中には、食べ物を４人くらいで分け合っている姿もありました。でも食べ物の量はとても少なくて分け合えるほどではなかったし、葉っぱなどを食べていたので、とても過酷な状況だったことがわかりました。もし自分がこんな状況の中に何日もいたら、気がおかしくなってしまうだろうな、と思いました。こんな状況に２度とならないようにするためにも、戦争はだめだと思いました。

僕は、このガマを見学して新たな発見や驚きがたくさんありました。これをもとに「未来につなげる」という目標を達成したいです。